

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後 12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

例会会報

第2324回

平成18年7月25日(火) 晴(本年度 第4回)

会長報告

丸山 隆志

先週の行事について

● 7/24 PM1:00 加藤賢会員の父(加藤正雄氏5代目寛明堂社長)葬儀に出席。ご冥福をお祈り致します。

● 7/24 PM6:30 4クラブ共同交換留学生受入打合せ(グラント・エリクソン) 秦幹事・富田会員出席

*新入会員の特定委員会所属:

牧 衛君:出席委員会

* * *

本日は、野村證券(株)金融経済研究所・経済調査部 シニアエコノミスト美和 卓(みわ・たかし)氏をゲストにお迎えしスピーチを御願いしております。当クラブでは、今回で4回目のスピーチになります。

第1回:H15.10.21「日本企業は変わったか」

第2回:H16.11.9「今後の日本経済の展望

—原油高はデフレを止めるか?」

第3回:H17.10.18「日本経済の展望

—ポスト・デフレへ」

今回は「日本経済の展望—世界的な金融市場不安定化の背景」を演題にお話になります。

また、昨年は鶴岡信用金庫主催の経済講演会でも講師として招かれております。とても鶴岡には縁のある方です。今日もどうぞ宜しくお願い致します。

美和 卓 プロフィール

生誕:昭和43年2月

学歴:平成2年3月 東京大学教養学部教養学科卒業

平成13年3月 東京大学大学院法学政治学

研究科修士課程修了 修士(法学)

職歴:平成2年4月 株野村総合研究所入所

平成13年3月 株野村総合研究所

経済研究部 日本経済研修室

平成16年4月 野村證券(株) 金融経済研究所

経済調査部

・・・現在に至る

日本経済の展望

世界的な金融市場不安定化の背景

野村證券(株)金融経済研究所 経済調査部 日本経済調査課

ゲストスピーチ

シニアエコノミスト 美和 卓氏



日本経済は足取りがかなりしっかりしてきており、GDPの統計国内総生産の成長率06年の1～3月期、年率換算で3.1%という成長に数字的にも力強い拡大をしている。

そこにおこったのが株の下落。株が下がるということが半年先の景気を暗示しているという見方がある一方で、会社経営者や個人の心理が冷え込み、景気が悪くなることが起こりがちだという見方もある。

日銀短観という統計がある。今回の結果は+21ポイント。今のところ株価の下落で先行き景気を悪くする恐れはないとみてよい。

今のところアメリカの景気は全く問題がなさそうである。アメリカのGDPは4%平均で伸びてきたといえる。06年1～3月期年率5.6という数字は、日本の3.1より明らかに高く、経済は非常にしっかりしている。ところがアメリカの経済が今後急速に悪くなっていくのであれば日本の経済に影響が出るはずである。何故アメリカ経済が悪くなるという懸念が出たのか、どうもインフレに対する懸念だったようである。アメリカの経済は想像以上に金利の上昇にもろい。アメリカでは住宅市況の高騰とそれを担保とした家計の追加借入(ホームエクイティローン)増加が、個人消費堅調を支えてきた。金利が上がって担保割れがおきれば、個人破産が沢山出るはず。そうするとアメリカ経済も急速に悪くなる恐れが出てくる。そんな意味でアメリカ経済は金利上昇に弱い。金利の上昇を引き起こすインフレはまずい。この懸念から日本も引きずられて悪くなる恐れがある。しかし、6月下旬アメリカ中央銀行FRBが、もうこれ以上金利を上げなくてもインフレをコントロールできるという自信を示した。このメッセージを受けて不安定化していた市場がだいぶ落ち着いてきたため、上昇がもうじき止まるという

目途がついてきたため、アメリカの景気が失速する懸念はないのではと考えている。日本の景気もそれほど心配ないと思う。

さて、この間日本の市場が懸念していたのはアメリカ経済だけではない。順調だった日本企業の利益の増加がそろそろ止まってしまうのではという懸念もあった。一番の理由はリストラ余地の縮小ではないだろうか。日本企業は人件費比率を大きく下げ、それで利益が大きく伸びてきたが、ここ最近では下げ止まっている。そして見逃せないのがデフレの解消である。頑張っても売上げが下がり、デフレで単価が下がる。いよいよ物価が下げ止まりデフレ解消がすすむ。単価が上がって、平均的に頑張っていれば自然体で売上げが増える。利益はそれに輪をかける形で増えやすい。今、そういう局面に入っているのではと考えている。

日本経済の先行きの見通しですが、2005年度の実質GDPは3.2となった。今年度が3.1で2007年度は若干下がるか、それでも2.6。これだけ成長できれば十分。日本経済の拡大の見通しは来年度も続くと判断している。戦後で一番長い景気拡大が続いたと言われる。今年の10月までいくとこれに並ぶが、私はこれを更新してさらに1年半くらいは景気の拡大を続けるという可能性を持っていると思う。

日本だけでなく世界を見てみると、今回の株下落はもっと大きな理由があるようだ。今までは、過剰流動性がインドの株や商品市況に流れ込んでいたので、値段が上がっていたが、世界の中央銀行が金融を引き締め始め、余ったお金を引き上げ始めたためという説がある。先進国のマネーサプライはここに来て減速傾向を示し始めている。世界の余剰金をばら撒いていたのは中央銀行だけでなく、ズバリ中国を始めとする新興国、BRICS（ブリックス）と呼ばれる国々の高度成長が発端であった。国内に投資をどんどんしながら、輸出をして成長してきたお金が入ってくる。特にアメリカから。だが、中国国民の所得水準がまだ低く、使い切れないアメリカドルを余らせている。そのお金の大部分でアメリカの国債を買う。アメリカに物を売り、稼いだドルがまたアメリカに戻ってくる。そしてアメリカの金利が下がる。これまでの世界的な金余り株高を招いていた原因も中国、インドだし、それを止める原油高を引き起こしているのも中国、インド。しかし、中国が成長を続け、国民が豊かになり、国内で作られた製品を国内で消費できるようになれば、世界の経済秩序はかなり変わると思う。中国にドルはいかなくなり、

世界的な株高の状況はなくなる。だが逆に金が足りなくなり、金利を上げてしまうと、金利高にアメリカ経済は大変もろい。世界の経済のバランスが変わる。ターニングポイントは中国が自家消費し始めた時。分かりやすい指標は人民元切上げがおきる。中国は貧富の差が激しく、貧しい農民、失業者がいる限り人民元を引上げられない。農民暴動がまだ発生しているという。下手すると国家体制が崩壊する事情を抱えている。将来、中国が自立して人民元を上げるとドルは下がり世界的にインフレが始まる恐れがある。恐らくここ数ヶ月の株の下落はこういった将来の変化を暗示するものだったのだろうが、すぐにそれが起る感じではない。ご安心下さい。

職場体験事業へのご協力について

山添高校 校長 佐藤 良裕

今年で12回目となります。3日間お世話になります。よろしくおねがいします。

ごあいさつ

鶴岡 RAC 会長 石川 匡志

今年度会長を本年度は会員8名でスタート。会員増強をお願い致します。

委員会報告

出席委員会

委員長 迎田 健

本日の出席		前々回の出席	
会員数	46人	出席率	71.43%
出席数	31人	修正出席数	31人
出席率	72.09%	確定出席率	73.81%

●メイクアップされた方

阿部純次君 迎田 健君 藤川享胤君

●ビジター

小池泰弘君（鶴岡西 RC）
佐藤宏一君（鶴岡東 RC）

職業奉仕委員会

委員長 本間喜美子

山添高校の職場体験は、10月11日～13日までとなっています。皆さんよろしくお願い致します。

スマイル

本間昭吉君 美和さん、スピーチありがとうございました。益々のご活躍を。

真島吉也君 ローターアクトで今後石塚さんがお世話になります。よろしくお願い致します。

藤川享胤君 今朝、ビル・ボイド国際ロータリー会長より手紙が届きました。今秋10/28,29米子で開催される2690地区地区大会で会長代理を務めさせていただくことになりました。